道徳　２年

２年－No.１	すてきな学校①	Ｃ　よりよい学校生活，集団生活の充実③	４月(１時間)

ねらい	学校にいる様々な人たちと関わって生活することの楽しさに気付き，それらの人たちに親しみをもって関わりを深めていこうとする道徳的実践意欲と態度を養う。
教材	学校大すき
主題構成の理由	導入では，教材の「わたしたち」が，学校にいる様々な人たちとの関わりを通して学校を大好きと感じている姿から，自分自身の学校にいる様々な人たちとの関わりについての問題意識をもつことができる。展開では，子どもたちは，教材の「わたしたち」がお世話になっていることと，自分自身の経験とを照らして，具体的に自分の学校にいる様々な人たちとの関わりを振り返り，学校生活が楽しくなった理由に気付くことができる。終末では，挿絵を基に，これからの学校生活をより楽しくしたいという意欲を高めることができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○教科書の「どうとくのがくしゅうがはじまります」を読み，道徳の学習の仕方を知る。 ○入学前の学校生活への不安な気持ちと，現在の気持ちとの違いを発表し合い，学習課題「わたしたちは，どんな人たちにお世話になって，学校が大すきになったのだろう」をつかむ。	
展開	○自分の考えを発表し合い，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり，学校にいる様々な人たちと関わって生活することのよさについて，自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。 ＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】
・関連－児童会活動「おはよう活動」

道徳　２年

２年－No.2	すてきな学校②	Ｂ　親切，思いやり③	４月(１時間)

ねらい	年下の子に優しくするためには，相手の気持ちを考えることが大切であることに気付き，年下の子の気持ちを考えて優しく接しようする道徳的判断力を養う。
教材	学校たんけん
主題構成の理由	導入では，学校たんけんを成功させるために話合いをする主人公たちの姿から，２年生として１年生に優しく接しようとする思いを高めることができるとともに，年下の子に優しく接することについての問題意識をもつことができる。展開では，主人公たちが１年生の時に，２年生がしてくれたこととその理由に着目して考えることで，年下の子に優しくするためには，相手の気持ちを考えることが大切であることに気付くことができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○１年生の時に２年生に優しくしてもらった経験を発表し合い，学習課題「１年生に優しくするためには，どんなことに気を付けたらよいのだろう」をつかむ。	
展開	○自分の考えを発表し合い，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり，年下の子の気持ちを考えて接することの大切さについて，自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。 ＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】
・関連－学校行事「１年生をむかえる会」，児童会活動「おはよう活動」

道徳　２年

２年－No.3	気持ちのよい家での生活	A　節度，節制⑤	４月(１時間)

ねらい	気持ちよく家で生活ができるように，身の回りを整え，わがままをせずに時間を守って規則正しい生活しようとする道徳的心情を養う。
教材	そこだよ　ポンタくん
主題構成の理由	導入では，家での生活の場面で，後で後悔するものの，物が片付けられなかったり，夢中になり過ぎてしまったりする主人公の姿から，気持ちよく家で過ごすことの難しさについての問題意識をもつことができる。展開では，部屋の整理・整頓，遊びと宿題の両立の際に，主人公が考えたことを行った際の気持ちに着目して考えることで，気持ちよく家で生活ができるように，身の回りを整え，わがままをせずに時間を守って規則正しい生活をすることのよさに気付くことができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○家での片付けの様子や時間の使い方を振り返り，学習課題「家で規則正しい生活をすると，どんなよいことがあるのだろう」をつかむ。	
展開	○自分の考えを発表し合い，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり，身の回りを整え，わがままをせずに時間を守って規則正しい生活をすることのよさについて，自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。 ＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】
・家での生活が長くなるGW前にできるとよい

道徳　２年

２年－No.4	気持ちのよい学校での生活	A　節度，節制⑥	５月(１時間)

ねらい	気持ちよく学校生活を送ることができるように，次にすることや時間を自分でよく考えて学校生活を送ろうとする道徳的心情を養う。
教材	できるよ　ポンタくん
主題構成の理由	導入では，学校生活の場面で，いけないと分かっていても，ついやり過ぎてしまう主人公の姿から，学校で気持ちよく過ごすことの難しさについての問題意識をもつことができる。展開では，給食や掃除，登下校の場面で，主人公が考えたことを行ったときの気持ちに着目して考えることで，気持ちよく学校生活を送ることができるように，次にすることや時間を自分でよく考えて学校生活を送ることのよさに気付くことができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○休み時間や授業中の過ごし方を振り返り，学習課題「次にすることや時間を自分でよく考えて学校で生活をすると，どんなよいことがあるのだろう」をつかむ。	
展開	○自分の考えを発表し合い，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり，次にすることや時間を自分でよく考えて学校生活を送ることのよさについて，自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。　＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】
・関連－学校行事「交通安全教室」

道徳　２年

２年－No.5	きまりがあるから	C　規則の尊重③	５月(１時間)

ねらい	周りの人が気持ちよく過ごすためには，一人一人がきまりを守って生活することが大切であることに気付き，きまりを守って生活しようとする道徳的心情を養う。
教材	くろぶたの　しっぱい
主題構成の理由	導入では，きまりを守ることが面倒で，自分１人くらいならきまりを守らなくてもよいと考える主人公の姿から，一人一人がきまりを守ることについての問題意識をもつことができる。展開では，馬役とくろぶた役に分かれて，役割演技をすることで，周りの人が気持ちよく過ごすためには，一人一人がきまりを守って生活することが大切であることに気付くことができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○生活の中のきまりについて発表し合い，学習課題「くろぶたさんに，どんなアドバイスをしてあげたらよいのだろう」をつかむ。	
展開	○自分の考えを発表し合い，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり，一人一人がきまりを守って生活することの大切さについて，自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。 ＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】

道徳　２年

２年－No.6	あいさつパワー	◎B　礼儀③	５月(１時間)

ねらい	挨拶をすることで相手に親しみがわき，よい人間関係を築くきっかけになることに気付き，進んで挨拶をして生活しようとする道徳的実践意欲と態度を養う。
教材	たびに出て（わたしたちの道徳１・２年）
主題構成の理由	導入では，挨拶をすることが面倒で旅に出たにも関わらず，進んで挨拶をするようになる主人公の姿から，進んで挨拶をすることについての問題意識をもつことができる。展開では，あいさつのない島にいる時とあいさつ島にいる時の主人公の気持ちの違いを，役割演技を通して考えることで，挨拶をすることで相手に親しみがわき，よい人間関係を築くきっかけになることに気付くことができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○日常での自分の挨拶の様子を振り返り，学習課題「挨拶にはどんなパワーがあるのだろう」をつかむ。	
展開	○自分の考えを発表し合い，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり，進んで挨拶をして生活しようとすることのよさについて，自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。 ＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】
・関連－生活科「町たんけんに出かけよう」

道徳　２年

２年－No.7	すききらいにとらわれないで	C　公正，公平，社会正義②	５月(１時間)

ねらい	一人一人の違いがあっても，誰もが同じ集団の一員として平等な存在であることに気付き，好き嫌いにとらわれずに誰とでも仲よくして生活しようとする道徳的実践意欲と態度を養う。
教材	やさい村の　子どもたち
主題構成の理由	導入では，自分たちとの違いから，友達を仲間外れにしてしまう主人公たちの姿から，誰とでも仲よくすることについての問題意識をもつことができる。展開では，友達と同じところに気付いてみんなと仲よく遊ぶ主人公たちの姿を基に，自分と友達との相違点や共通点に着目しながら考えることで，一人一人の違いがあっても，誰もが同じ集団の一員として平等な存在であることに気付くことができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○日頃自分がよく遊んでいる友達を振り返り，学習課題「誰とでも仲よくするためには，どんな気持ちがあればよいのだろう」をつかむ。	
展開	○自分の考えを発表し合い，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題について多面的・多角的に考えたり，誰とでも仲よくして生活することのよさについて，自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。 ＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】

道徳　２年

２年－No.8	みんななかよし	B　友情，信頼③	６月(１時間)

ねらい	苦手なことがある友達でも，その友達と助け合い，一緒に活動することの楽しさに気付き，友達と仲よく生活しようとする道徳的心情を養う。
教材	およげない　りすさん
主題構成の理由	導入では，泳げないからという理由で友達を置いていき，遊んでいても気持ちがもやもやしている主人公の姿から，苦手なことがある友達と仲よくするために必要なことについての問題意識をもつことができる。展開では，友達を背中に乗せていったときの登場人物の気持ちを基に，友達と仲よくするために必要なものを考えることで,苦手なことがある友達でも，その友達と助け合い，一緒に活動することの楽しさに気付くことができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○友達と仲よくできたり，できなかったりした経験を発表し合い,学習課題「苦手なことがある友達と仲よくするためには,何が必要なのだろう」をつかむ。	
展開	○自分の考えを発表し合い，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり，友達と助け合い，活動することのよさについて，自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。 ＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】学校行事「リレー大会」

道徳　２年

２年－No.9	広がる心の温かさ	B　親切，思いやり④	６月(１時間)

ねらい	親切にすることで，互いの心が温かくなったり，互いを思いやる気持ちが生まれたりすることに気付き，身近にいる人に親切にして生活しようとする道徳的心情を養う。
教材	ぐみの木と　小鳥
主題構成の理由	導入では，自己の利害に関わらず，互いに親切にし合う登場人物たちの姿から，親切にすることのよさについての問題意識をもつことができる。展開では，嵐で戸惑う気持ちとそれでもリスに親切にしようとする小鳥の気持ちや，嵐の中のリスの気持ちに着目して考えることで，相手に親切にすることで，互いの心が温かくなったり，互いを思いやる気持ちが生まれたりすることに気付くことができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○身の回りの人に，親切にしたりされたりした経験を発表し合い，学習課題「小鳥が，嵐の中でも親切にしようと思ったのはなぜだろう」をつかむ。	
展開	○自分の考えを発表し合い，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり，身近にいる人に親切にして生活することのよさについて自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。 ＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】

道徳　２年

２年－No.10	みんなのためにはたらくと	◎C　勤労，公共の精神②	６月(１時間)

ねらい	周りの人の役に立つことを自分から進んで行うことで，人の役に立つことのうれしさややりがいを得られることに気付き，周りの人たちの役に立つことを自分から進んで行おうとする道徳的心情を養う。
教材	わたしたちも　しごとを　したい
主題構成の理由	導入では，自分から進んで町の人のために働き始めた主人公たちの姿から，自分から進んで働くことについての問題意識をもつことができる。展開では，ご褒美がなくても働きたいと思う主人公たちの気持ちに着目して，自分から進んで働くことと，人に言われて働くことの意味を対比しながら考えることで，周りの人の役に立つことを自分から進んで行うことで，人の役に立つことのうれしさややりがいを得られることに気付くことができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○学級の仕事に対する自分の取組を振り返り，学習課題「なぜ，自分から仕事をしようとする気持ちになるのだろう」をつかむ。	
展開	○自分の考えを発表し合い，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり，周りの人たちの役に立つことを自分から進んで行うことのよさについて自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。　＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】
・関連－学級活動「かかりをつくろう」,「よりよい学きゅうにしよう」

道徳　２年

２年－No.１１	家族のために	Ｃ　家族愛，家庭生活の充実②	６月(１時間)

ねらい	家の手伝いをすることで，家族の一員として役に立つ喜びを得ることができることに気付き，自分にできる家の仕事を進んで手伝おうとする道徳的実践意欲と態度を養う。
教材	げんかんそうじ
主題構成の理由	導入では，進んで手伝いを見付けて玄関掃除を行う姿から，家の仕事を進んで行うことについての問題意識をもつことができる。展開では，主人公や家族の気持ちに着目しながら考えることで，家の手伝いをすることで，家族の一員として役に立つ喜びを得ることができることに気付くことができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○事前に行った家での仕事調べの結果を発表し合い，学習課題「どうして自分から家の仕事を手伝うとよいのだろう」をつかむ。	
展開	○自分の考えを発表し合い，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり，進んで家の手伝いをすることのよさについて，自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。 ＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】
・関連－学級活動「夏休みのめあてをつくろう」

道徳　２年

２年－No.１２	せかいはつながる	Ｃ　国際理解，国際親善②	７月(１時間)

ねらい	世界には様々な国があることに気付き，他国やその国の人々や文化に親しもうとする道徳的実践意欲と態度を養う。
教材	オリンピックと　パラリンピックの　はた
主題構成の理由	導入では，オリンピックとパラリンピックに様々な国の人が参加していることから，日本以外の国についての問題意識をもつことができる。展開では，興味のある外国の人やその出身国について知っていることを紹介し合うことで，世界の国についての親しみをもつことができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○興味のある外国の人やその出身国について発表し合い，学習課題「世界にはどんな国があるのだろう」をつかむ。	
展開	○知っている国や人物を紹介し合い，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり，外国や外国の人について，自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。 ＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】
・オリンピックとパラリンピックの開会式（閉会式）の映像を用意するとよい。
・オリンピックとパラリンピックの画像を用意するとよい。

道徳　２年

２年－No.13	地いきにつたわる行じ	C　伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度③	７月(１時間)

ねらい	自分たちの住む地域には長く伝わる行事があり，人々が親しんできたことに気付き，自分も行事に親しみをもって生活しようとする道徳的実践意欲と態度を養う。
教材	「やぎぶし」のれんしゅう（ぐんまの道徳１・２年）
主題構成の理由	導入では，八木節の練習をだんだん好きになる主人公と自分とを比べながら，感想や疑問を話し合うことで，自分たちの住む地域に長くから行事が伝わってきていることについての問題意識をもつことができる。展開では，八木節の映像を見たり，実際に踊ってみたりしながら考えることで，自分たちの住む地域には長く伝わる行事があり，人々が親しんできたことに気付き，自分も行事に親しみをもって生活しようとする思いを高めることができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○教材を読み，八木節の練習が好きになる主人公についての感想や疑問を話し合い，学習課題「行事が長く続く理由は何だろう」をつかむ。	
展開	○実際に八木節を踊りを体験し，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり，八木節が続いている理由について，自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。　＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】
・音楽準備室に参考資料（音楽，映像）がある。

道徳　２年

２年－No.14	ともだちがいるから	B　友情，信頼④	９月(１時間)

ねらい	楽しく充実した生活を送るために，友達と助け合って生活しようとする道徳的心情を養う。
教材	リレー大会（自作）
主題構成の理由	導入では，ミスをしてしまって落ち込む友達を励まし，新たな目標に向かって協力する主人公たちと，自分の経験とを比べながら，感想や疑問を話し合うことで，友達と助け合うことのよさについての問題意識をもつことができる。展開では，ミスをしてしまった友達やそれを励ます友達，周りで見ていた友達の気持ちに着目しながら考えることで，友達と助け合って生活することで，楽しく充実した生活を送れるようになることに気付くことができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○友達と励まし合ったことで失敗を乗り越えて，みんなで協力し合う主人公たちについての感想や疑問を話し合い，学習課題「友達がいるからできることは何だろう」をつかむ。	
展開	○自分の考えを発表し合い，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり，友達と助け合うことのよさについて，自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。　＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】
・関連－学校行事「運動会」

道徳　２年

２年－No.15	一人一人を大切に	C　公正，公平，社会正義③	９月(１時間)

ねらい	集団の力を高め，誰もが伸び伸びと生活できるように，集団生活において，自分の利害にとらわれずに，一人一人を大切にしようとする道徳的心情を養う。
教材	のこぎり山の　大ぶつ
主題構成の理由	導入では，遠足で歩くのが苦手なあかりさんに冷たくするが，後で自分の過ちに気付いて行動を改める主人公と自分とを比べながら，その感想や疑問を話し合うことで，集団生活において，自分の利害を優先し，相手に対して差別的な態度を取ることについての問題意識をもつことができる。展開では，あかりさんに文句を言ってしまった場合と声をかけた場合の主人公やあかりさん，周囲の友達の気持ちに着目しながら考えることで，集団生活において，自分の利害にとらわれずに一人一人を大切にすることで，集団の力が高まり，誰もが伸び伸びと生活できることに気付くことができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○教材を読み，遠足の場面で歩くのが遅い友達との関わり方についての感想や疑問を話し合い，学習課題「『ぼく』がはっとしたのは，どんなことに気付いたからだろう」をつかむ。	
展開	○自分の考えを発表し合い，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり，自分の利害にとらわれずに一人一人を大切にすることについて，自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】
・関連－学校行事「榛名湖畔オリエンテーリング」

道徳　２年

２年－No.16	なかよくしようよ	B　友情，信頼⑤	９月(１時間)

ねらい	力を合わせて困難を乗り越えたり，一緒に楽しく生活したりすることができるように，いつでも友達と助け合って生活しようとする道徳的判断力を養う。
教材	モムンと　ヘーテ
主題構成の理由	導入では，意地悪をしたヘーテと助け合って困難を乗り越える主人公と自分とを比べながら感想や疑問を話し合うことで，友達と助け合おうとする気持ちについての問題意識をもつことができる。展開では，友達と助け合って生活する場合とそうでない場合とを比較しながら考えることで，友達と助け合って生活することにより，困難を乗り越えられたり，これから先も楽しい気持ちで生活したりすることができることに気付くことができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○教材を読み，意地悪をしたヘーテと助け合って困難を乗り越えようとする主人公についての感想や疑問を話し合い，学習課題「なぜ友達と助け合うのだろう」をつかむ。	
展開	○自分の考えを発表し合い，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり，友達と助け合って生活することについて，自分との関わりで考えたりしたことを発言したり記述したりしている。＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】

道徳　２年

２年－No.17	すがすがしい心	Ｄ　感動，畏敬の念②	１０月(１時間)

ねらい	様々な美しいものに感動することができる人の心に気付き，美しいものを感じ取る道徳的心情を養う。
教材	うつくしいもの，うつくしいこころ
主題構成の理由	導入では，これまでに美しいと感じたものと教材の写真とを比べて，その感想や疑問を話し合うことで，美しいと感じるものについての問題意識をもつことができる。展開では，それぞれの写真を見て美しいと感じた理由を伝え合うことで，人は様々なものを美しいと感じることに気付くことができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○教材の写真を見て美しいと感じるものを発表し，その感想や疑問を話し合い，学習課題「うつくしいとかんじるものは，どんなものだろう」をつかむ。	
展開	○自分の考えを発表し合い，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり，美しいと感じる心について，自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。　＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】
・関連－学校行事「榛名湖畔オリエンテーリング」

道徳　２年

２年－No.18	ありがとう○○さん	Ｂ　感謝③	１０月(１時間)

ねらい	身の回りには，自分たちのためにお世話をしてくれている人たちがいることに気付き，そのような人たちに感謝の気持ちをもって生活しようとする道徳的実践意欲と態度を養う。
教材	はたけの　先生
主題構成の理由	導入では，教材を基に自分たちの身の回りにいるお世話になっている人たちについての感想や疑問を話し合うことで，自分の身の回りでお世話をしてくれている人に感謝の気持ちをもつことについての問題意識をもつことができる。展開では，お世話をしてくれている人たちの気持ちに着目して考えることで，お世話になっている人に感謝の気持ちをもって生活しようとする思いを高めることができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○教材を読み，自分たちの身の回りにいるお世話になっている人たちについての感想や疑問を話し合い，学習課題「お礼を伝えたい人は誰だろう」をつかむ。	
展開	○自分の考えを発表し合い，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり，お世話になっている人に感謝の気持ちをもって生活することについて，自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。　＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】

道徳　２年

２年－No.19	おじいさん，おばあさん，ありがとう	C　家族愛，家庭生活の充実③	１０月(１時間)

ねらい	自分に対する祖父母の愛情に気付き，祖父母を大切にして，祖父母のためにできることをして生活しようとする道徳的実践意欲と態度を養う。
教材	わたしのおじいさん，おばあさん
主題構成の理由	導入では，教材文を基に敬老の日について知っていることを発表し合い，その感想や疑問を話し合うことで，祖父母の存在についての問題意識をもつことができる。展開では，祖父母が自分たちのためを思っていろいろな事をしてくれることに着目しながら考えることで，自分に対する祖父母の愛情に気付き，祖父母を大切にし，祖父母のためにできることをして生活しようとする思いを高めることができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○敬老の日に自分がしていることを発表し，その感想や疑問を話し合い，学習課題「おじいさんやおばあさんのすてきなところはどこだろう」をつかむ。	
展開	○自分の考えを発表し合い，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり，自分と祖父母の関わりについて考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。 ＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】
・関連－敬老の日

道徳　２年

２年－No.20	しんせつにするとよい気もち	B　親切，思いやり⑤	１０月(１時間)

ねらい	相手のことを考えて親切にすることのよさに気付き，進んで相手に親切にしようとする道徳的心情を養う。
教材	小さな　ゆきうさぎ
主題構成の理由	導入では，おさむくんのために雪うさぎを作って届ける主人公と自分とを比べながら，感想や疑問を話し合うことで，見返りを求めず，進んで相手に親切にすることについての問題意識をもつことができる。展開では，きよみさん，おさむくん，おさむくんのお母さんの気持ちに着目しながら考えることで，相手のことを考えて親切にすることのよさに気付くことができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○教材を読み，雪うさぎを作って届ける主人公についての感想や疑問を話し合い，学習課題「なぜ，きよみさんはおさむくんに自分から優しくしたのだろう」をつかむ。	
展開	○自分の考えを発表し合い，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり，進んで相手に親切にすることのよさについて，自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】

道徳　２年

２年－No.21	してはいけないことは①	○A　善悪の判断，自律，自由と責任④	１１月(１時間)

ねらい	人として行ってはいけないことがあり，よいことと悪いことの区別をして生活しようとする道徳的心情を養う。
教材	くつかくし
主題構成の理由	導入では，教材文を基に，「くつかくし」についての感想や疑問を話し合うことで，人としてしてはいけないことがあることについての問題意識をもつことができる。展開では，靴を隠された本人や一緒に探す友達，隠された子の家族，先生等の気持ちに着目して考えることで，人として行ってはいけないことがあり，よいことと悪いことの区別をして生活することが大切であることに気付くことができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○教材を読み，友達の靴を隠すことについての感想や疑問を話し合い，学習課題「なぜ，『くつかくし』を絶対してはいけないのか」をつかむ。	
展開	○自分の考えを発表し合い，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり，してはいけない理由について，自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。　＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】

道徳　２年

２年－No.22	してはいけないことは②	○A　善悪の判断，自律，自由と責任⑤	１１月(１時間)

ねらい	人として行ってはいけないことをせずに気持ちよく生活するために，よいことと悪いことの区別をして生活しようとする道徳的判断力を養う。
教材	レッドカード
主題構成の理由	導入では，教材文を基に，「レッドカード」をもらうことについての感想や疑問を話し合うことで，してはいけないことをしないことについての問題意識をもつことができる。展開では，してはいけないことをしてしまう人間の弱さを踏まえた上で，してはいけないことをしてしまった時の気持ちに着目しながら考えることで，人として行ってはいけないことをせずに気持ちよく生活するために，よいことと悪いことの区別をして生活することが大切であることに気付くことができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○教材を読み，「レッドカード」をもらうことについての感想や疑問を話し合い，学習課題「どうしたら『レッドカード』をもらわずにいられるのか」をつかむ。	
展開	○自分の考えを発表し合い，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり，してはいけないことをせずに生活することについて，自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。　＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】

道徳　２年

２年－No.23	よいとおもうこと，よくないとおもうこと	○Ａ　善悪の判断，自律，自由と責任⑥ ※情報モラル	１１月(１時間)

ねらい	よいと思うことをして生活するために，自分のしていることがよいか悪いかをよく考えて行動しようとする道徳的判断力を養う。
教材	おかあさんとの　やくそく
主題構成の理由	導入では，お母さんとの約束を思い出してメールを打ち直した主人公と自分とを比べながら，感想や疑問を話し合うことで，よいと思うことをして生活することについての問題意識をもつことができる。展開では，最初にメールを打った時と打ち直そうと思った時の主人公の気持ちに着目しながら考えることで，よいと思うことをして生活するためには，自分のしていることがよいか悪いかをよく考えて行動することが大切であることに気付くことができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○教材を読み，メールを打ち直した主人公についての感想や疑問を話し合い，学習課題「主人公はなぜ，よいことをしようとしたのだろう」をつかむ。	
展開	○自分の考えを発表し合い，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり，自分のしていることがよいか悪いかを考えて行動することについて，自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。　＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】

道徳　２年

２年－No.24	すなおな気もちで	Ａ　正直，誠実③	１２月(１時間)

ねらい	明るく楽しい気持ちで生活することができるように，素直な気持ちで生活しようとする道徳的心情を養う。
教材	お月さまとコロ（わたしたちの道徳１・２年）
主題構成の理由	導入では，始めは素直になれなかったものの，お月様との話をきかっけに素直な気持ちをもって生活しようと決意する主人公と自分とを比べながら，感想や疑問を話し合うことで，素直な気持ちで生活することについての問題意識をもつことができる。展開では，主人公の心が晴れ晴れとした理由を，動作化をしながら考えることで，素直な気持ちで生活すると，明るく楽しく生活することができることに気付くことができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○教材を読み，素直に友達に謝ろうと決意する主人公についての感想や疑問を話し合い，学習課題「すなおにすると，心がはればれとするのはなぜか」をつかむ。	
展開	○自分の考えを発表し合い，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり，素直な気持ちをもって生活することについて，自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。 ＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】

道徳　２年

２年－No.25	れいぎ正しく	◎Ｂ　礼儀④	１２月(１時間)

ねらい	互いが明るい気持ちで生活するために，人間関係やその場の状況に関わらず気持ちのよい挨拶をしようとする道徳的判断力を養う。
教材	小さな　できごと
主題構成の理由	導入では，迷いながらもおばさんに謝罪をした主人公と自分とを比べながら，感想や疑問を話し合うことで，挨拶をすることの意義についての問題意識をもつことができる。展開では，様々な「ごめんなさい」の言い方をした際の，おばさんと主人公の役割演技を行い，それぞれの気持ちに着目して考えることで，互いが明るい気持ちで生活するために，人間関係に関わらずその場にふさわしい挨拶をすることが大切であることに気付くことができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○教材を読み，おばさんに謝罪をする主人公についての感想や疑問を話し合い，学習課題「どんな『ごめんなさい』を言うことができるとよいのだろうか」をつかむ。	
展開	○主人公とおばさんの役割演技を基に自分の考えを発表し合い，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり，その場にふざわしい挨拶をすることについて，自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。 ＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】

道徳　２年

２年－No.26	お金やもののつかい方	Ａ　節度，節制⑦	１２月(１時間)

ねらい	金銭を大切に使うために，本当に必要かどうかをよく考えて金銭を使おうとする道徳的判断力を養う。
教材	三べん　かんがえて
主題構成の理由	導入では，ゲームを買おうと考えていたが，よく考えて母親のプレゼントを買うことにした主人公と自分とを比べながら，感想や疑問を話し合うことで，金銭を大切に使うことについての問題意識をもつことができる。展開では，ゲームではなくプレゼントにお金を使った時の主人公の気持ちに着目しながら考えることで，金銭を大切に使うためには，本当に必要かどうかをよく考えて金銭を使うことが大切であることに気付くことができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○教材を読み，よく考えて金銭の使い道を変えた主人公についての感想や疑問を話し合い，学習課題「なぜ，自分のものを買う気持ちがなくなったのだろう」をつかむ。	
展開	○自分の考えを発表し合い，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり，金銭を大切に使うことについて，自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。　＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】

道徳　２年

２年－No.27	生きているサイン	◎Ｄ　生命の尊さ④	１月(１時間)

ねらい	人間は，生まれた時から自分の力で「生きているサイン」を発していることに気付き，命を大切にしようとする道徳的心情を養う。
教材	おとうとの　たんじょう
主題構成の理由	導入では，弟の「生きているサイン」を見守る主人公たちの姿から，命を大切にすることについての問題意識をもつことができる。展開では，「手が動く」「あくびをする」「手があたたかい」などの自分の生きているサインを確かめ，感想を話し合うことで，命を大切にしようとする心情を養う。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○生きていると感じる瞬間を発表し合い，学習課題「自分にはどんな生きているサインがあるのだろう」をつかむ。	
展開	○自分の考えを発表し合い，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり，命の大切さについて自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。 ＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】

道徳　２年

２年－No.28	生きる力	◎Ｄ　生命の尊さ⑥	１月(１時間)

ねらい	自分の成長には自分自身の生きる力や家族の支えがあったことに気付き，かけがえのない生命を大切にしようとする道徳的心情を養う。
教材	一まいのしゃしん
主題構成の理由	導入では，主人公が赤ちゃんだった頃，自分がけがをしながらも主人公を病院に連れて行った主人公のお母さんの話から，今元気でいる主人公と自分とを比べながら感想や疑問を話し合うことで，自分が今元気でいることに関わる力についての問題意識をもつことができる。展開では，自分の中にある力やお母さんや医者からもらった力に着目し，自分が元気でいられる理由について話し合うことで，自分の成長には自分自身の生きる力や家族や周囲の支えがあったことに気付くことができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○教材を読み，自分がけがをしながらも主人公を病院に連れて行ったお母さんの話や今元気でいる主人公についての感想や疑問を話し合い，学習課題「今元気でいるのはどうしてだろう」をつかむ。	
展開	○学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり，自分が元気でいることに関わる力について考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。 ＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】
・関連－生活「大きくなった今の自分・これからの自分」
　家の人からのインタビューの後に行うとよい。

道徳　２年

２年－No.29	大きくなったよ	◎Ｄ　生命の尊さ⑥	１月(１時間)

ねらい	誕生から様々な出来事があって大きくなったことに気付き，生きることに素晴らしさや喜びを感じる道徳的心情を養う。
教材	わたしの　ものがたり
主題構成の理由	導入では，教科書の主人公の成長の軌跡と自分とを比べながら共通点や相違点を話し合うことで，自分の成長の様子についての問題意識をもつことができる。展開では，誕生から現在までの自分の写真を見ながら，自分の成長の様子を「成長の道」にまとめ，友達と伝え合うことで，誕生から様々な出来事があって大きくなったことに気付き，生きることに素晴らしさや喜びを感じることができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○教材を読み，主人公の「成長の道」と自分との共通点や相違点を話し合い，学習課題「自分は，どんな『成長の道』を歩いたのだろう」をつかむ。	
展開	○学習課題の解決に向けて，誕生から今日までの写真を基に，自分の成長の様子を伝え合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり，自分の成長の様子について考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。 ＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】

道徳　２年

２年－No.30	みんなのために	◎Ｃ　勤労，公共の精神③	２月(１時間)

ねらい	周りの人が気持ちよく過ごせるように，周りの人のことを考えて進んで仕事をしようとする道徳的実践意欲と態度を養う。
教材	きれいに　なった　ずこうしつ
主題構成の理由	導入では，自分たちが使った図工室を，自分から進んで掃除をし始める主人公たちと自分とを比べながら感想や疑問を話し合うことで，自分から進んで働くことについての問題意識をもつことができる。展開では，日常生活の中で進んで掃除を始める友達を紹介し合い，その理由を聞いたり，散らかった図工室の場面絵を見た際に思ったことを発表し合ったりすることで，周りの人のことを考えて進んで掃除をすることで，自分や周りの人が気持ちよく過ごせるようになることに気付くことができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○教材を読み，図工室を進んできれいにする主人公たちについての感想や疑問を話し合い，学習課題「掃除をするのはなぜだろう」をつかむ。	
展開	○学習課題の解決に向けて，実際の経験を紹介し合ったり，散らかった図工室の場面絵を見て思ったことを発表し合ったりする。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり，自分から進んで働くことについて，自分との関わりで考えたりしたことを発言したり記述したりしている。　＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】

道徳　２年

２年－No.31	みんながつかう道	C　規則の尊重④	２月(１時間)

ねらい	公共の場は身の回りのいろいろな人が使う場であり，誰もが気持ちよく過ごせるように，公共の場を大切に使おうとする道徳的判断力を養う。
教材	おとす人，ひろう人
主題構成の理由	導入では，ゴミを落とす人がいることに対して，ゴミを拾う「おじさん」と自分とを比べながら感想や疑問を話し合うことで，公共の場所の使い方についての問題意識をもつことができる。展開では，ゴミを捨てる，ゴミを拾う，何もしないの立場から公共の場の過ごし方を考えることで，公共の場は身の回りの人が気持ちよく使うことができるように大切に使うことが大切であることに気付くことができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○教材を読み，自分からゴミを拾うおじさんについての感想や疑問を話し合い，学習課題「みんなで使う道を，どのように使うのがよいのだろう」をつかむ。	
展開	○学習課題の解決に向けてそれぞれの立場で話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり，公共の場の過ごし方について，自分との関わりで考えたりしたことを発言したり記述したりしている。　＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】
・関連－学活「落とし物をなくそう」

道徳　２年

２年－No.32	がんばる力	◎A　希望と勇気，努力と強い意志②	２月(１時間)

ねらい	達成感や満足感を得たり，自分自身がより成長したりするために，やると決めたことをしっかりと行おうとする道徳的判断力を養う。
教材	おりがみ名人
主題構成の理由	導入では，自分でやると決めた折り紙のつる作りに向け，もっとよいものを作ろうと何度も努力する主人公と自分とを比べながら感想や疑問を話し合うことで，やると決めたことをしっかり行うことについての問題意識をもつことができる。展開では，本物のつるのようになるまで努力した場合とそうでない場合の主人公の気持ちを比較しながら考えることで，やると決めたことをしっかりと行うことで，達成感や満足感を得たり，自分自身がより成長したりすることに気付くことができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○教材を読み，本物のつるになるように何度も努力した主人公についての感想や疑問を話し合い，学習課題「『わたし』が，本物のつるのように折れるまであきらめなかったのはなぜだろう」をつかむ。	
展開	○自分の考えを発表し合い，学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり，やると決めたことをしっかりと行うことについて，自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。　＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】
・関連－学校行事「なわとび大会」

道徳　２年

２年－No.33	じぶんのよいところ	A　個性の伸長②	３月(１時間)

ねらい	自分の特徴に気付き，自分のよいところを伸ばそうとする道徳的実践意欲と態度を養う。
教材	ミーボーしんぶん
主題構成の理由	導入では，小学２年生のときに魚に興味をもち，それからずっと魚について調べ続けた主人公と自分とを比べながら感想や疑問を話し合うことで，自分の伸ばしていきたいところについての問題意識をもつことができる。展開では，自分や相手の興味のあることについて，友達と伝え合うことで，自分の特徴に気付くことができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○教材を読み，興味をもった魚について調べ続けた主人公についての感想や疑問を話し合い，学習課題「自分がのばしたいところはどのようなところだろう」をつかむ。	
展開	○友達と互いの興味のあることについて伝え合い，自分の伸ばしていきたいところを見つける。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり，自分の伸ばしていきたいところについて，これまでの経験を基に発言したり記述したりしている。 ＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】

道徳　２年

２年－No.34	うつくしい心	D　感動，畏敬の念③	３月(１時間)

ねらい	人の幸せを願う心の美しさに気付き，美しいものに感動する道徳的心情を養う。
教材	しあわせの　王子
主題構成の理由	導入では，王子とつばめの行動と自分とを比べながら感想や疑問を話し合うことで，人の幸せを願う心についての問題意識をもつことができる。展開では，王子が自分のものを貧しい人に分け与えた理由と，つばめが王子と一緒に暮らすと言った理由に着目して考えることで，人の幸せを願う心の美しさに気付くことができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○教材を読み，王子とつばめの行動についての感想や疑問を話し合い，学習課題「お話の美しいところはどんなところだろう」をつかむ。	
展開	○学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり，王子とつばめの行動について，自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。　＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】

道徳　２年

２年－No.35	しぜんといっしょに	D　自然愛護②	３月(１時間)

ねらい	自然と触れ合う中で楽しさを感じたり，その力強さを感じたりすることができることに気付き，身近な自然に対して親しみの気持ちをもって生活しようとする道徳的実践意欲と態度を養う。
教材	さくらの木と　いっしょに
主題構成の理由	導入では，さくらの木と共に過ごし，さくらの木が大好きな主人公たちと自分とを比べながら感想や疑問を話し合うことで，身近な自然と触れ合うことについての問題意識をもつことができる。展開では，主人公たちがさくらの木と触れ合う中で抱いた気持ちに着目して考えることで，身近にある自然に触れ合う中で楽しさを感じたり，自然の力強さを感じたりすることに気付くことができる。

過程	学習活動	評価の視点＜評価方法＞
導入	○教材を読み，さくらの木の周りで遊ぶことが大好きな主人公たちについての感想や疑問を話し合い，学習課題「『ぼくたち』は，さくらの木のどんなところが好きなのだろう」をつかむ。	
展開	○学習課題の解決に向けて話し合う。	◇学習課題の解決に向けて多面的・多角的に考えたり，身近な自然と触れ合うことについて，自分との関わりで考えたりしたことを，発言したり記述したりしている。　＜発言・表現カード＞
終末	○本時の学習を振り返って考えたことを表現カードに記述し，発表し合う。	

【備考】